

研究計画書

| | | | |
|--------|--|------|-----------|
| ゼミ名 | 青木ゼミ II | チーム名 | Team YUKI |
| タイトル | 日本に外資ニューフェイスは来るか？ | | |
| テーマ群 | d) 国際経済 | | |
| メンバー | 大倉桃子 奥村洋介 岸本浩一 熊谷礼司 橋爪真穂 樋口碧子 日好貫太 松田卓朗 溝尻侑也 宮地翔子 幸翔太郎 近久 寧 | | |
| 研究計画内容 | <p>2013 年 6 月、アベノミクス「第三の矢」である「民間投資を喚起する成長戦略」の素案が、日本産業再生プラン、戦略市場創造プラン、国際展開戦略の 3 つのカテゴリーからなる「日本再興戦略」として公にされた。その第三番目の国際展開戦略は、FTA 戦略や対内直接投資目標（対内直接投資残高を現在の 17.8 兆円から 2020 年の 35 兆円へ倍増）などから構成されている。しかし、日本の対内直接投資（外国企業の日本進出に伴う投融資）は、主要先進国中에서도最も低調であり、従来、その掛け声ばかりが大きくてほとんど実績があがっていない。なぜであろうか？また、安倍政権の「国家戦略特区」構想で目標の対内直接投資倍増は可能なのであろうか？</p> <p>日本の対内直接投資の現状を、国際比較の観点から調査・分析し、対内直接投資を活性化することによって期待される効用を考える。また、成功する外資と失敗する外資を調査する。</p> <p>こうした素朴な疑問に答えるために、まず、(1)日本の対内直接投資の現状を、国連貿易開発会議(UNCTAD)のデータベースを活用して、国際的視点から分析する。また(2)対日直接投資の最大産業である流通業を事例として、日本における外資の成功・失敗のケース・スタディと、世界 185 ヶ国の事業活動の容易さを包括的に定量化した世界銀行の Ease of Doing Business 指数を活用して、諸外国に比べた対日直接投資のウィークポイント分析を行う。そして最後に、(3)日本の高いビジネス・コストのネックである法人税率の在り方の分析を通じて、日本の直面する課題を考える。</p> | | |